



山中湖村の動物愛好家らが集まり、山中湖ちょいボラ隊(伊藤美加隊長)を結成し、捨て犬の保護や「里親」活動に取り組んでいる。忍野村の団体とも協力し、これまでに約10匹の犬を里親に渡した。同隊は「最後まで責任を持って面倒を見てほしい」と呼び掛けている。

捨て犬保護「里親」探し

同隊は2013年5月に結成し、約10人のメンバーで活動している。団体名には「無理をせずちょいとボランティアをしていこう」という意味を込めた。週3、4日ほど、犬が保護されている同村内の施設で、餌やりや散歩、狂犬病の予防接種をボランティアで行っている。忍野村を拠点にペットの保護活動に取り組む団体「クラブ

アニマル」と協力して里親探しを行い、これまでに同隊で保護した犬約20匹のうち、約10匹を新しい飼い主に渡すことができた。施設で保護されるのは、捨て



小沢 甲吾、笠井 憂弥 (富士吉田)
雨宮 丈貴 (大月・上野原)
仲沢 篤志 (都留)
植田 裕作
富士吉田支社 (0555)24-1000
FAX 23-6997
都 留 支 局 (0554)45-8880
FAX 45-8880
大月・上野原支局 (0554)22-0477
FAX 23-2324

山中湖の愛好家ら「ちょいボラ」で

世話続け10匹仲介

て犬のほか、逃げ出した飼い犬のケースもある。伊藤隊長は「首輪に住所や連絡先が分かるタグなどを付けてほしい。捨て犬を出さないために、避妊や去勢手術をしてほしい」と呼び掛けている。

同隊は、施設で面倒をみている犬の新しい飼い主を随時募集している。詳しい問い合わせは、両団体のブログ「山中湖ワンちゃん倶楽部」のアドレス<http://rikaalo-ha.wordpress.com/>